

H20年度 人間ドック受診者の居住地状況

	1日ドック		2日ドック	
	人数	割合	人数	割合
東信	7814	96.10%	4643	90.80%
北信	213	2.60%	220	4.30%
南信	14	0.20%	23	0.40%
中信	17	0.20%	73	1.40%
県外	70	0.90%	157	3.10%

H20年度人間ドック受診者の内訳

	1日ドック		2日ドック	
	男性	女性	男性	女性
39歳以下	415	231	91	75
40～49歳	1131	792	317	190
50～59歳	1594	1315	1001	746
60～69歳	973	904	966	665
70歳以上	461	317	626	439
計	4574	3559	3001	2115
	8133人		5116人	
総計	13249人			

当院人間ドックでは、〈早期発見こそすべて〉を基本理念として健診活動に取り組んでいます。H19年度の発見ガン率は83.10%で、うち早期ガンの割合は83.10%でした。

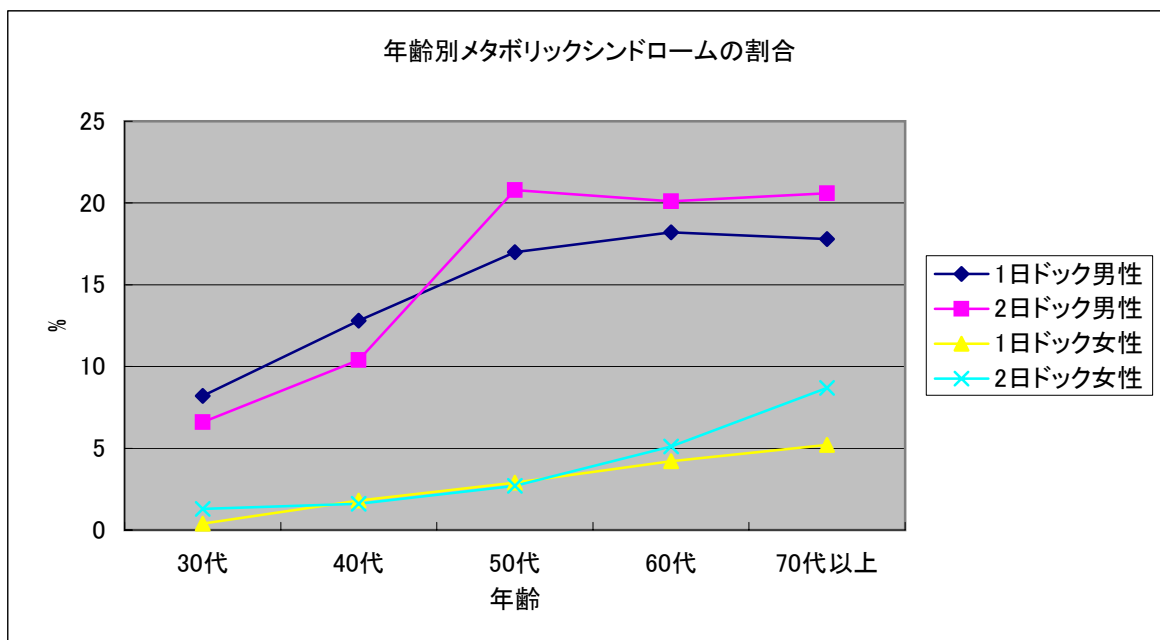
基本のパックとして消化器を中心とした検査が組まれており、H20年度の胃検査実施割合は13249人中12455人(94.01%)の受診者が胃内視鏡検査を受け、206人(1.55%)の受診者が胃透視検査を実施しました。

発見ガンの数 ()は早期ガン

総発見ガン数	2006年	2007年
	117(93)	127(104)
1日ドック (人)	72(55)	71(56)
2日ドック (人)	48(38)	56(48)
早期ガン率	79.50%	83.10%
発見ガン率	0.88%	0.93%

<H20年度 メタボリックシンドロームと診断された方の割合 (%)>

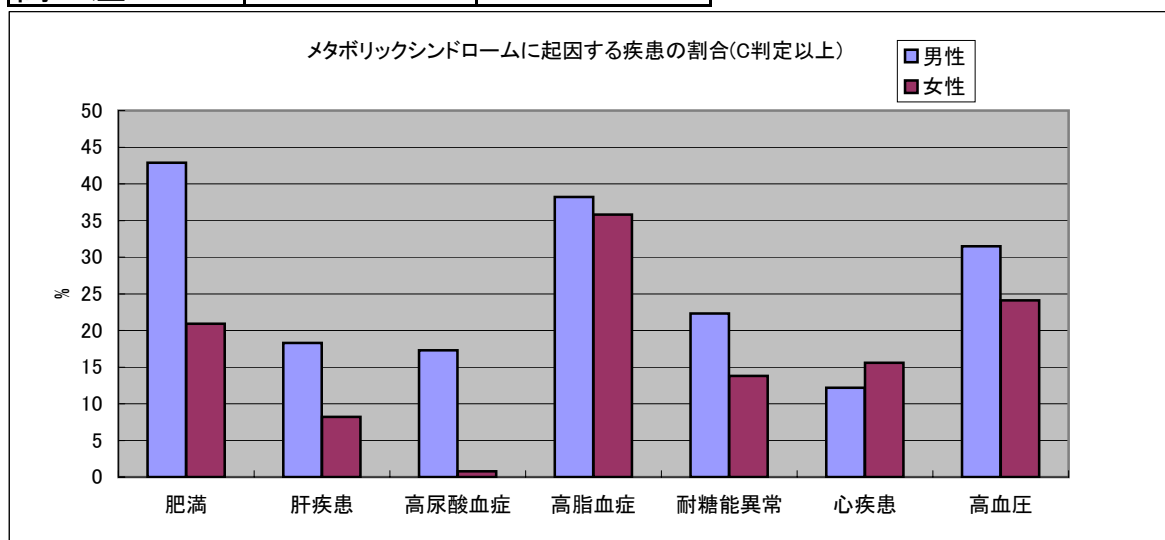
	1日ドック男性	2日ドック男性	1日ドック女性	2日ドック女性
30代	8.2	6.6	0.4	1.3
40代	12.8	10.4	1.8	1.6
50代	17	20.8	2.9	2.7
60代	18.2	20.1	4.2	5.1
70代以上	17.8	20.6	5.2	8.7



男性は50歳代から急激にメタボリックシンドロームの割合が高くなること分かる。

<H20年度 メタボリックシンドロームに起因する疾患の割合 (%)>

	男性	女性
肥満	42.9	20.9
肝疾患	18.3	8.2
高尿酸血症	17.3	0.8
高脂血症	38.2	35.8
耐糖能異常	22.3	13.8
心疾患	12.2	15.6
高血圧	31.5	24.1



メタボリックシンドロームに起因する疾患の割合は、肥満、高脂血症、高血圧が高い。

特定健診・特定保健指導に取り組んで3年目を迎えました。
H20年度の特定健診・特定保健指導の実施結果は以下の通りです。

H20年度特定健診・特定保健指導のまとめ

〈人間ドック受診者に占める特定健診・保健指導契約者数（人）（40～74歳）〉

	人間ドック受診者数	特定健診契約者数	特定保健指導契約者数
男性	7515	3292	1112
女性	5734	2738	1109
合計	13249	6030	2221
		45.50%	16.80%

〈保健指導対象者の内訳（人）〉

	対象者数	実施者数	契約者に対する割合(発生率)
動機づけ支援	190	187	8.55%
積極的支援	208	205	9.37%
合計	398	392	17.91%